



# CIVIC FORCE

## NEWS LETTER Vol.22

ニュースレター (December, 2020)



コロナ禍で休業していた福島県南相馬市小高のブックカフェ「フルハウス」が12月2日にリニューアルオープン。店主で作家・柳美里さん(左から2人目)の小説が全米図書賞に選ばれたのを受け、当日は祝いの花を届ける人などで賑わいました。詳しくはp2へ。



©Munetaka Matsuno

### Contents

#### P2 被災地を支援する

##### 【7月豪雨】

- ・コロナ禍の複合災害 ひとり親家庭をサポート
- ・続く人手不足 地域の力を引き出す支援

##### 【東日本大震災】

- ・作家・柳美里さんの小説 全米図書賞受賞
- ・東北3県で「NPOパートナー協働事業」継続

##### 【COVID-19】

- ・コロナ × 災害  
被災地の二重苦を救う取り組みをサポート

#### P4 緊急即応体制を創る

- ・Yahoo! 防災速報と連携
- ・人材募集@福島
- ・寄付サイト「SOLIO」スタート
- ・バリューブックス「チャリボン」キャンペーン中

発行日：2020年12月  
 発行：公益社団法人 Civic Force  
 〒151-0063 東京都渋谷区富ヶ谷 2-41-12  
 富ヶ谷小川ビル 2階  
 TEL：03-5790-9366  
 e-mail：info@civic-force.org  
 URL：http://www.civic-force.org

## 機動力・課題解決力のあるチームに

早いもので、間もなく2020年が終わろうとしています。

「今年こそは災害のない平穏な年に」。1年前、切にそう願って新年を迎えた矢先、新型コロナウイルスという脅威が私たちの日常を襲いました。ウイルスの猛威は、人々の命を脅かすだけでなく、経済をマヒさせ、個々の行動や考え方、社会のあり方にまで変容を迫っています。

「自然災害」という脅威に向き合ってきた私たちにとっても、2020年は新しい課題に直面する年となりました。特に今夏、熊本県をはじめ九州や中部地方など日本各地で発生した集中豪雨の被災地では、コロナ禍の複合災害において、いかに機動力を保ちながら、自分たちの身を守り、一人でも多くの命を救えるか、これまで以上に難しいミッションに挑戦することになりました。チームの機動力をより一層高めるとともに、見えにくい課題を吸い上げ、的確なタイミングで解決につなげていく支援に力を注いでいます。

今年最後のニュースレターでは、7月豪雨の被害を受けた熊本県と大分県で続ける「NPOパートナー協働事業」についてご報告します。また、復旧・復興の途上にありながら新型コロナウイルスの影響で前に進めなくなってしまうかつての被災地をサポートする取り組みや、震災から10年を前に新たな課題と向き合う東日本大震災の被災地でのプロジェクトについてご紹介します。

Civic Forceの被災者支援活動は、他でもない寄付者の皆様に支えられています。今年も本当にありがとうございました。来年も私たちと一緒に備え、支えてください。来年もどうぞよろしく願いいたします。

## 被災地 を 支援する

日本各地で発生する災害時の緊急支援活動や被災地の復旧・復興に向けた取り組みなどについてお知らせします。

7月  
豪雨

### コロナ禍の複合災害 ひとり親家庭をサポート

2020年7月、熊本県を中心に九州や中部地方を襲った豪雨から半年以上が経ちました。コロナ禍で起きた複合災害によって、それまで困窮していた人々がさらに追い詰められる事態となっています。特に、孤立しがちなひとり親世帯にとって、経済的・精神的な負担感が一層増しています。

Civic Force の「NPO パートナー協働事業」では10月から新たに社会福祉法人熊本県ひとり親家庭福祉協議会との協働事業を開始。同協議会によれば、豪雨災害の被災地に住むひとり親家庭206世帯のうち60世帯が床上・床下浸水などの被害を受けて仮設住宅などで暮らしており、協働事業では球磨村や芦北市、八代市などの被災地のひとり親世帯に向けた親子カフェ（メンタルサポート）や野外キャンプ、受験対策講座などを実施しています。

1949年から母子家庭への支援を続ける同会の会員数は1,750世帯。コロナ禍で約2,000世帯に緊急支援食材BOXを配布するなど、長年の経験とネットワークを生かして活動を続けています。「心身の負担から精神不安定になり子どもにやさしく接することが難しい、と訴える親が増えている。子と親双方へのケアが急務」と話しています。



### 続く人手不足 地域の力を引き出す支援

発災直後から熊本県で支援活動を続ける被災地NGO協働センターは、「日本版 POSKO※プロジェクト」と題し、球磨村や人吉市、八代市などの被災地で立ち上がった被災者グループや自主防災組織など6団体へ、復旧・復興の取り組みを継続するための資金や物資をサポートしています。また、これまでの経験を生かし、過去の災害復興の経験を伝える活動も行っています。

大分県日田市のNPO法人リエラとの協働事業では、大分を代表する「天ヶ瀬温泉」が被災を乗り越え新しい温泉街として未来を切り開いていけるようサポートしています。コロナ禍で外部からの支援が不足するなか、リエラでは様々な場面で地域の人々の力を引き出す支援に力を入れています。

※POSKO（ポスコ）：インドネシア語で「詰め所」の意。被災者同士が集まって作り出す小単位の助け合いの空間・拠点のこと。

## Pick Up!

東日本  
大震災

### 作家・柳美里さんの小説 全米図書賞受賞

Civic Force のパートナー、フルハウス代表で作家・柳美里さんの小説『JR上野駅公園口』が11月19日、全米図書賞を受賞しました。主人公は南相馬市出身の男性で、柳さんは「地震と津波と原発事故と、苦難の道を歩む南相馬市の皆さんとの交流の中で書いた。ブックカフェを地域の憩いの場にしてほしい」と言います。



Civic Force は、東日本大震災「NPO パートナー協働事業」の一環で、2020年3月からブックカフェ「フルハウス」の運営をサポートしています。カフェはコロナ禍で営業を中止していましたが、12月2日にリニューアルオープンし、カフェメニューなどが新しくなりました。営業は火～土曜 11:00～18:00（16:30ラストオーダー）。

## コロナ × 災害 被災地の二重苦を救う取り組みをサポート

新型コロナウイルスの影響で復旧・復興が遅れがちな被災地や周辺地域を応援するため、2020年5月から「NPOパートナー協働事業」を実施しています。11月までに4県で4団体の活動をサポートし、引き続きニーズ調査を行っています。

### 三陸ひとつなぎ自然学校

### 子どもたちに思いっきり体を動かせる時間を

東日本大震災で被災した岩手県釜石市で野外教育やまちづくりの活動を続けてきた三陸ひとつなぎ自然学校は、コロナの影響でストレスを抱える子どもたちに思いっきり体を動かす場を提供しようと、5月から毎週末、地域の根浜海岸などで自然体験や野外遊びを楽しむ「あおぞらパーク」を開催しています。代表の伊藤聡さんは「地域の医療関係者とも連携し、遊びながら感染症対策ができるよう工夫している」と言います。



### ピースジャム

### 母親たちの働く場・子育ての場を継続

東日本大震災で仕事や子育ての場を失った母親たちをサポートしてきたピースジャム。地域の果物や野菜を活用した手作りジャムなどの事業を手がけてきましたが、コロナ禍で再び危機的状況にあるため、エアマスクや消毒液など社会のニーズに合致した製品の製造・販売にシフトすることで、母親たちの働く場や子育ての場を守り続けています。Civic Forceの協働事業では事務局体制の強化に向けたサポートも行いました。



### ezorock

### 木製知育玩具で親子のつながりサポート



外出自粛要請の影響でストレスを抱える子どもや保護者をサポートするため、8月から9月の夏休み期間を中心に、手づくりの木製玩具を無償で貸し出すプロジェクトを実施。札幌市や苫小牧市、栗山町など6地域で計17世帯に利用されました。アンケートでは「子どもの家での過ごし方が変わった」「親子関係が良くなった」などの声が寄せられました。ezorockとの連携は2018年の北海道地震以降2回目。

### Arts and Sports for Everyone (ASE)

### オンラインで障がい者の働く場を守る

ASEとの協働事業は、熊本地震以降3回目。経済の落ち込みにより、働く場を失いつつある障がい者をサポートするため、障がい者施設のスタッフを対象にしたオンラインセミナーを6月から計8回実施。熊本県の福祉施設のスタッフら述べ121人が参加しました。また、障がい者施設で制作した雑貨や野菜などを販売するオンラインショップ「しふく百貨店」をオープンし、現在20施設の76商品を出展しています。



## 東日本大震災

## 岩手・宮城・福島 東北3県で「NPOパートナー協働事業」継続中

東日本大震災の復興を後押しする「NPOパートナー協働事業」は、2011年から2018年までに37団体と49事業を展開しました。2019年からは新たに「新 夢を応援・NPOパートナー協働事業」と題して、若者の教育や心身のサポート、伝承活動の支援などを続けています。2019年度は、3県で7事業（支出総額30,023,845円）を実施。詳しくは「2019年度活動報告書」（2019年5月～2020年4月）をご覧ください。なお、2020年10月から以下の新規プロジェクトがスタートしています。詳しくはホームページなどでご報告します。

- 相馬救援隊（福島）：  
南相馬の馬事文化を通じた次世代育成 & コミュニティづくり
- 三陸ひとつなぎ自然学校（岩手）：  
若者の地域参画と防災教育による次世代育成事業



オンライン寄付はこちらから



# 緊急 即応体制 を創る

大規模災害時の緊急即応体制を整えるためのさまざまな取り組みを行っています。メディア掲載やご協力いただいている皆様の関連情報もお知らせします。

## 緊急即 応体制

### Yahoo! 防災速報と連携

Civic Force が参画する空飛ぶ捜索医療団 ARROWS は、9月からYahoo! 防災アプリ「災害マップ」の連携パートナーになりました。それまで個人ユーザーのみが発信していた発災直後の被災地の状況を、現場で活動する支援団体もリアルタイムで投稿・発信できるようになり、より多くの人命救助に貢献することが期待されています。



## メディア

### 寄付サイト「SOLIO」

「寄付からはじまる、今よりちょっと、いい世界」。寄付プラットフォーム SOLIO (ソリオ) が、11月にオープンし、12の社会課題の一つ「防災・被災地支援」の寄付先として、Civic Force が選定されました。

詳しくは、[solio.me](http://solio.me) へ。



## 東日本 大震災

### 人材募集@福島

東日本大震災支援事業を担うプログラムコーディネーターを募集中！詳しくは HP 参照。

## 緊急即 応体制

### 1日 33円からできること

次の大規模災害に向けて平時から備えておくために皆様の力が必要です。マンスリーサポーターとして毎月定額（1,000円単位）をご寄付いただく形でともに備えてください。また、団体活動全般へのご寄付は以下の口座で受け付けています。

- 銀行：三井住友銀行 青山支店 普通 6953964
- ゆうちょ：00140-6-361805

（上記いずれも口座名義は「コウエキシヤダンホウジン シビックフォース」

- クレジットカード：HP「オンライン募金」より

<https://bokinchan3.com/civicforce/donation/bokin/page1.php>

※ニュースレターのバックナンバーは、<https://www.civic-force.org/news/newsletter/> からご覧いただけます。

## 緊急即 応体制

### もっと気軽に社会貢献！

#### 《活動全般》

- バリューボックス「チャリボン」

<http://www.charibon.jp>

- ヘッズ「チャリティハピネスレジ袋」

<https://www.e-heads.co.jp/products/detail2/3219>

- サンナップ（アスクル限定販売）

「フェーズフリー認証 紙コップ メジャーメント」

<https://www.askul.co.jp/p/P678379/>

- 本棚お助け隊「古本チャリティ募金」

<https://hondana.biz/second-hand-books-sellng-for-charity/charity.html>

- ECナビ「スマイルプロジェクト」

[https://ecnavi.jp/smile\\_project/](https://ecnavi.jp/smile_project/)

#### 《令和2年7月豪雨》

- Yahoo! ネット募金

<https://donation.yahoo.co.jp/detail/3747019>

- GlobalGiving（英）

<https://www.globalgiving.org/projects/flood-and-landslide-relief-in-kyushu-japan-2020/>

#### 《新型コロナウイルス緊急支援》

- Yahoo! ネット募金

NPO パートナー協働事業 <http://donation.yahoo.co.jp/detail/3747017>

病院にトレーラー等貸与 <http://donation.yahoo.co.jp/detail/3747016>

- GlobalGiving（英）

<https://www.globalgiving.org/projects/coronavirus-relief-aid-distribution/>

#### 《東日本大震災》

- Yahoo! ネット募金

<http://donation.yahoo.co.jp/detail/3747011>

寄付金 10% 上乘せキャンペーン  
実施中！ ~12/31 まで

